

# 令和8年度予算案のEBPM「障害児入所給付費等負担金等」

## 課題データ

利用児童数の増加等に伴い、現在の制度体系となった平成24年度から障害児施設措置・給付費は約8倍に増加しており、障害児支援に対する質の高いサービスへのニーズは、益々高まっている。

## 事業

### 障害児入所給付費等負担金等

令和8年度当初予算案：5,202億円  
令和7年度補正予算：619億円

障害児入所施設等における児童等の入所後又は委託後の保護に必要な費用の負担及び障害児が障害児入所施設等において受けた指定入所支援及び指定通所支援等に要する費用の負担を行うことにより、障害児の支援体制の構築を図ることを目的として、都道府県等が支弁する障害児通所給付費・措置費及び障害児入所給付費・措置費に要する費用の1/2を負担するもの。（児童福祉法53条）

※アウトプット、アウトカムの（）内は直近の実績値

### アウトプット

障害児支援利用（措置）児童数  
2025年度 **8,035,579**人（8,212,725人）

### 短期 アウトカム

-

### 中期 アウトカム

-

### 長期 アウトカム

障害児が必要な支援を確実に利用できる環境の維持継続

## EBPM指標

## 目標

こども・若者の権利保障と  
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な成育環境の提供

すべてのこども・若者の  
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と  
その実現を阻む隘路の打破

こども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み